

令和5年度 授業改善推進プラン3年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 内容のまとまりで段落をつくり、文章の構成を考えて書く力が不足しているので、改善策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読むときや書くときに、内容のまとまりを構成表に表し、具体的な文章と対応させていく学習を行う。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料と生活体験等を結び付けて、社会的な課題を見つける力をさらに伸ばしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図や資料の読み取り方や、社会科における用語について一つずつ丁寧に指導し、ICTを活用して調べる活動を取り入れる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ①考え方や理由を分かるように書いたり説明したりすることが苦手な児童が多いので、改善策が必要である。 ②前学年までの学習が定着していない児童への支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ノートに自分の考えを図や式、言葉を使って書き、説明する時間を設ける。児童から出た考えの数学的な考え方についての価値を明確に示していく。 ②九九や単位変換などの問題について、朝学習や宿題等で積極的に取り入れる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 問題意識や、視点を明確にもって観察や実験に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題づくりではその解決方法を話し合うことを含めて丁寧に行い、比較するという視点で実験や観察ができるようなワークシートを作成する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ①歌唱：歌詞から情景理解や暗記することへの支援が必要である。 ②器楽：技能習得に個人差があるので支援が必要である。 ③鑑賞：曲全体のながれを把握したり、特徴に気付いたりしてそれを的確な言葉で表すことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①言葉から想像する練習、暗記の為にリレー式に歌う。 ②ペア活動などで一人一人が課題意識できるようにしてから全体練習を行う。 ③短い曲や少し長めの曲、様々な構成の曲を集中して聴く練習、発言で共有する。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 発想を深めずにすぐに仕上げようとする児童もいる。逆になかなか広げられず時間がかかってしまう児童もいて、進捗や内容に差が出てしまうことへの支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の段階で、活動やアイデアの良さや面白さを共有するなどして、視野を広げたり、方向性を見つけるきっかけとなったりするようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 体の使い方を意識して、粘り強く練習に取り組む力を身に付けさせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、動画を見ながら練習できる環境を整えたり、ポイントを意識して振り返ったりすることができるカードを活用する。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 単語ではなく、短い文章を英語で積極的に話そうとする力をさらに伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTや友達とのコミュニケーションを楽しんで取り組めるようにゲーム性のある活動を取り入れる。
ICT端末の活用	<ul style="list-style-type: none"> 社会、総合的な学習の時間に自分が知りたいことを調べる。 各教科において、学習理解に適した画像や映像の資料を提示する。 児童間の意見の交流を「スクールタクト」等でスムーズに行う。 	